

緊急 トップインタビュー

新型コロナウイルス

ともに
乗り越えよう

ハミングバード・インターナショナル

代表取締役 青木 聡志さん(45)

コロナウイルスに負けじと奮闘する地元経営者に、業況や対策を聞く新企画。初回は宮城県内外20拠点で飲食店を展開するハミングバード・インターナショナルの代表取締役、青木聡志さん(45)です。



—影響は。

売り上げは例年の2割にとどまる深刻さです。店の賃料や従業員の給料といった固定費はほぼ変わらず、社としては毎月数千万円の赤字。500人いるアルバイトには泣く泣く休んでもらっています。社員91人を守れるか、正念場です。

—対応は早い方でした。

少しでも来客を増やそうと、3月2日に20%オフ券を発行しました。翌3日には、運転資金を確保しつつ「未来の来店」を担保するため、自社独自の1割増し商品券の発行を始めました。祖父が1957年に興した会社は「店づくりは街づく

「未来の来店」へ独自商品券



り」が信念。自社だけ生き残り、他店がなくなるとは街ではないとの危機感から「愛する店ドットコム仙台」というクラウドファンディングを立ち上げました。

—500万円の目標に対して、2500万円超が集まりました。

ありがたいの一言。仕組みを提供してくれた「まちくる仙台」、即応してくれた仙台商工会議所青年部など

多くの方々にも感謝です。ただ、参加205店で最も集めた店でも400万円程度。売り上げ減に比べれば遠く及びません。それでも多くの人に支えてもらい、何物にも代えがたいエネルギーをいただきました。ピンチに変わりはありませんが、座して死ぬわけにはいきません。アイデアはたくさんあり、次々手を打ちます。

information

4月15日、仙台中央タクシーと組んで食事の宅配をスタートさせた。仙台市中心部限定で、2000円以上の注文があれば送料500円で届ける。年中無休。午前9時～午後9時。詳細は右のQRコードから。連絡先は仙台中央タクシー配車センター(0570)057818。



企画・制作/河北新報社営業局